

窓ガラスにも、 貼る台風対策。

近年、台風や暴風雨などの災害が日本各地で起こり、
飛来物によるガラスの破損が増加傾向にあります。
ガラスが割れ、鋭い破片が一面に飛び散れば、
思わぬ二次災害を引き起こしかねません。
台風シーズン到来の前に、
ガラス飛散防止対策フィルムを施工しませんか。
万が一ガラスが割れた際にも、破片の飛散を低減できます。



ガラス飛散防止対策フィルム 1521UH

耐貫通性に優れた100 μ mタイプ

飛散
防止

一般的なガラス飛散防止対策フィルムに比べて、フィルムの全厚を100 μ m以上にすることで耐貫通性を高めました。

紫外線を99%以上カット

99%
UV CUT

人体に有害な紫外線を99%以上カットし、室内の家具やカーペット、畳などの退色を軽減します。

傷がつきにくいハードコート

Hard
Coat

ハードコートタイプなので、フィルムの表面に傷がつきにくく、透過性や美観を損ないません。



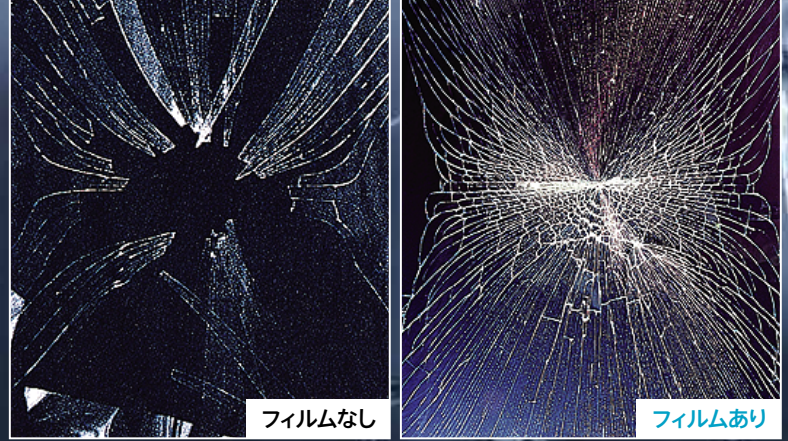
ガラス飛散防止対策フィルム

1521UH

台風・暴風雨対策として、
さまざまな場所で活用されています。

1521UH 特徴

- フィルム厚が100 μ mのため、一般の飛散防止対策フィルム(50 μ m)に比べ耐貫通性に優れ、さまざまな場所で安全対策が可能
- 紫外線を99%以上カットし、室内の家具やカーペットなどの退色を軽減
- 傷がつきにくいハードコートタイプ



優れた飛散防止性能を実証。ガラス飛散による二次災害を低減します。

一般のフィルムに比べ厚みがあり耐貫通性に優れ
さまざまな場所での安全対策が可能です。

災害	具体例	1501UH 厚さ50 μ m	1521UH 厚さ100 μ m	備考
地震	地震などによる窓枠の歪みなど	●	●	JIS A 5759:2016 層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム
求められるもの 安全設計が	劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場などの玄関ホール、ロビー、階段周りなど		●*	ガラスを用いた開口部の安全設計指針
	百貨店、マーケット、展示場、遊戯場などの通路、休憩所など		●*	
	幼稚園、保育園および体育館	●	●	
	小中高等学校および体育館		●	
	浴室、シャワー室など		●	
望まれるもの 安全設計が	事務所、店舗などの玄関周り、階段周りなど		●*	
	病院、診療所、ホテル、旅館、共同住宅、養老院などの玄関、ロビー、待合室、階段周りなど		●*	
	病院、診療所などの病室、養老院などの居室など		●	
	住宅、共同住宅などの居室、ホテル、旅館、下宿などの宿泊室、寄宿舎などの寝室	●	●	
人体衝突	幼児(6才以下)	●	●	
	小・中学生(7~15才) 歩行・走行により衝突、静態から転倒		●	
	成人(16才以上) 静態から転倒		●	
	小・中学生(7~15才) 動態から転倒		●	
	成人(16才以上) 歩行・走行により衝突		●	

* 出入口およびその隣接部を除く

製品幅

970mm

1,250mm

1,550mm



リンテック株式会社 Linking your dreams

- 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
- 支店 札幌・仙台・北陸・静岡・名古屋・大阪・広島・四国・福岡
- 工場 吾妻・熊谷・千葉・龍野・新宮・小松島・三島
- テクノロジーセンター 伊奈 ● 研究所 茨城

お問い合わせは、ウインドーフィルム営業部 〒112-0004 東京都文京区後楽2-1-2
TEL.(03)3868-7733 FAX.(03)3868-7755
E-mail: wf@post.lintec.co.jp

www.lintec.co.jp

3146DE2003300